

しょうがいしゃ じ り つ せ い か つ じ ょ う ほう
障害者の自立生活情報

ナンバー
No.58



ナビゲーション

(2018年3月号)

じ り つ み ち あ ん な い
自 立 へ の 道 案 内



こんかい ぼうさい かた ねが うちだ ひとみ
今回の「防災について語ろう」でインタビューをお願いしました内田 瞳 さんです。

もくじ

- | | |
|---------------------------------|---------------|
| ●わたし流 障害受容第5回 (玉木建一さん) 2 | ●編集後記..... 16 |
| ●防災について語ろう第5回 (内田 瞳さん) 6 | |
| ●行きつけのお店紹介 (がんこ なんば本店) 13 | |
| ●市営交通乗車証及びタクシー給付券について..... 15 | |

わたし流障害受容

だい かい
第5回

このコーナーでは毎回、重度の身体障害者にスポットを当てて、障害受容について考えてみようと思います。インタビューでは、自身の障害を受け入れ、自立するまでの過程において、どのような心の動きがあったのか、それは、何らかの影響によるものだったのかなど、自身の経験を自由に語っていただきます。その中から、みなさんそれぞれの障害受容のかたちを、探し出すことができればと考えています。今回は、障害者活動センター赤おにに通っておられる、玉木建一さんにインタビューさせていただきました。

～プロフィール～

なまえ 名前 玉木 建一
ねんれい 年齢 42歳
しょうがいめい 障害名 脳性マヒ
しよぞく 所属 障害者活動センター・赤おに
しゅみ 趣味 ラジオを聴くこと



～子どもの頃のこと～

山下：今日は、玉木さんの生い立ち、障害を受容するきっかけや、これからどんなことをしていきたいかなどお聞きしたいと思います。よろしくお願いします。

玉木：お願いします。

山下：はじめに、障害がわかった時のことを教えてください。

玉木：産まれる時は24時間かかったそうです。1ヶ月早い早産で母親が体力のない人だったので、産まれる時にバキュームを使って引っぱり出されたみたい。その時の傷で脳性マヒになったと聞いています。1歳ぐらいの時に歩き方が変わったそうで、脳性マヒと分かったのは、2歳の時でした。

山下：それまでわからなかったんですね。

玉木：そうみたい。いろいろな病院へ行ったり聞いています。東大阪市に住んでいて、大阪市内にある南大阪療育園（現：大阪発達そうごう療育センター）に通いながら家の近くの保育所に通ってたかな。

山下：療育園へはどれぐらいのペースで通ってたんですか？

玉木：タクシーで通っていました。今、考えてみたらタクシー代高くなってたやろね。母親と週1回通ってました。

山下：小学校は、どうしてましたか？

玉木：小学校に入る前に住吉区に引っ越ししてきました。小学校の時は、体育の授業以外

はみんなと一緒に勉強していました。

養護学級も時々行っていました、ほと

んど普通学級で過ごしていました。

山下：小学校の頃に「自分は どうして 車いすに

乗ってるんやろ。」とか感じましたか？

玉木：保育所の時から周りみんな歩いてるじゃな

いですか。でも僕は無理やから。そこで、

母に言われたことは「建一は歩かれへんけ

ど、喋れるから、あんたは頭で勝負せえ」

と言われていました。今でもすごいその

言葉は残っています。だから、これが当た

り前なんだと。

山下：学校の友達や先生は協力してくれること

はあったんですか？

玉木：先生も理解がある人でしたよ。学校の中で

は6年生の子が階段を担いでくれたり、

友達が車いすを押してくれました。6年生

の女の子が友達になってくれて、家に遊

びに来てくれたりしました。



みなみおおさかりよういくえん ちゅう さい
南大阪療育園でリハビリ中（3歳）

山下：遊びに来てくれる友達がいたっていうのは

いいですね。家族構成を教えてください。

玉木：小学校2年生の夏休みに両親がいなくな

って、結局は離婚しました。だから、お

ばあちゃんに面倒を見てもらってたんで

すが、ラーメンしか食べていなくて軽い

栄養失調にもなりました。夏休みの終わ

る直前に父親が帰ってきて「お母さんは

どこに行ったんや。」と聞かれたので「知ら

ない。」と言ったら、偶然、電話がかかっ

てきて電話でケンカしてました。普段、

面倒を見ない父親に引き取られました。そ

れで、2ヶ所の施設に入所しました。両方

とも施設の名称は伏せてほしいです。

山下：わかりました。

玉木：まずは、大阪市北区にある障害児入所施設

に入所しました。

～しんどかった施設での生活～

山下：施設での生活を教えてください。

玉木：20歳まで北区にある施設に入所してて、

そのあとは26歳まで大阪市東淀川区にあ

る障害者支援施設に入所してました。

北区の施設は100人くらい入所していて、

年齢もバラバラでした。男女一緒の24人

部屋（小学校2年から中学校3年）でした。

施設の中は手動車いすで移動してしまし

た。自分で出来る子が多かったので、その

人達から「なんで出来へんねん。」とか言わ

れたりしました。そんなことを言われるの

が嫌でベッドの下に隠れてました。

山下：施設の人は何も言わなかったんですか？

玉木：その時は怒ってくれるけど、それが引き金

となっていじめがエスカレートしてまし

た。1年くらい続いて、逃げたかったし家

に帰りたいかったです。その時、初めて親を

憎みました。なんで父親に引き取られたの

かと。

山下：外泊とか出来たんですか？

玉木：1週間に1回外泊をしてたんですが、それ

もだんだんなくなりました。やっぱり周り

は障害の軽い子が多かったから、自分は

ま 負けないぞというきも
あそ わ はい
かな遊びの輪に入っていけませんでし
お じかん ね じかん き
た。起きる時間や寝る時間も決まっています、
がっこう かよ しせつ なか
学校にも通ってたんですが、施設の中にあ
しせつ じゆう で
ったので、施設から自由に出来ることは
しせつ せいかつ
ありませんでした。施設の生活はしんどか
ったです。

やました ぼく しせつ はい
山下：僕も施設に入ったことがあります、どこ
しせつ じゆう ほか
の施設も自由がないですね。他にしんど
かったことはありますか？

たまき しやうがい かる ある こ
玉木：ちょっとでも障害が軽くなって歩ける子
いっしょ あそ けいど ひと
と一緒に遊びたいなとか軽度の人はいいい
おも たと やきゆう
などは思いました。例えば、野球しても、
ぼく とくべつ
僕だけ特別ルールでされるとかありまし
けいど こ いっしょ
た。軽度のグループの子と一緒にさせられ
な じ
ていたから馴染めなかったのがしんどか
ったです。



こうこう ねんせい とし おかやま しやうがくりよう い
高校3年生の時に岡山まで修学旅行へ行きました。

やました しせつせいかつ ほか しやうがいしや いしき
山下：施設生活で他の障害者を意識したことは
ありますか？

たまき いしき おな しやうがい こ
玉木：意識したというか同じような障害の子が
とき かんごふ こ で き
おって、その時の看護婦に「あの子は出来
で き
てなんで、あんたは出来へんの。」という
く かえ い
ことを繰り返し言われてきて、すごい
きやうそう おも いまおも
競争させられたんやと思うし、今思えば、
い おも
なんでそんなこと言うんやろなと思う。
で き で き かんけい くや
出来る、出来ない関係ないやん。悔しかっ

たです。今は、出来へんやったら出来へん
いま で き で き
と割り切っています。子どもの頃は、なん
わ き こ ころ
で比べたんやろなと。これが、普通学校に
くら ふつうがっこう
通ってたなら、もっと、障害受容というも
かよ しやうがいじゆう
のがあったかもしれんけど、小さい頃から
ちい ころ
周りが障害者ばかりという所で暮ら
まわ しやうがいしや ところ く
してたので思わなかったんかな。施設はそ
おも しせつ
れをも奪ったんやなと思う。

やました ひがしどがわく しせつ はい
山下：東淀川区の施設に入るきっかけはなんだっ
たんですか？

たまき ちち かって い ところ き しせつ
玉木：父が勝手に行く所を決めていました。施設
はい かまえ ちゆうぶしやうがいしやかいほう
に入る3、4日前に中部障害者解放センタ
げん えぬびーおーほうじん い か
ー（現：NPO法人ちゅうぶ 以下ちゅう
ぶ）の大交流キャンプに参加したんです
だいこうりゆう さんか
が、その時に、今、障害者活動センター赤
とき いま しやうがいしやかつどう あか
おにに通っている山本敏晶さんと出会
かよ やまもととしあき で あ
いました。キャンプの時にちゅうぶの障害
とき しやうがい
者を見て、みんなイキイキしてたから僕も
しゃ み ぼく
こうなればいいなと思いました。施設にお
おも しせつ
ったら何も言わなくてもしてくれてたし、
なに い
でも自分のしたいことは制限されていま
じぶん せいげん
した。24歳の時に施設に入所しながら、
さい とし しせつ にゆうしょ
しやうだんじりつせいかつ さんか
ナビの集団自立生活プログラムに参加す
るようになって、パーティーを企画したり、
きかく
調理をしたり制度の勉強もしました。そ
ちやうり せいど べんきやう
の後は一人暮らしに向けて個別のプログ
あと ひとりぐ む こべつ
ラムをするようになって、旅行に行ったり
りやこう い
ウィークリーマンションを借りて体験
か たいけん
宿泊もしました。プログラムをする中で
しゆくはく なか
自分から言わないと出来ないんやと感じ
じぶん い で き かん
ました。一人暮らしは2002年6月から始め
ひとりぐ ねん がつ はじ
ました。

な か ま で あ じゆう
～仲間と出会えて受容ができた～

やました しょうがいしゃ で あ ひ と り ぐ
山下：たくさんの障害者と出会ったり一人暮らしをするようになって、障害受容に対してどんな変化があったと思いますか？

たまき しょうがいしゃ で あ はじ
玉木：ちゅうぶの障害者と出会ったことが初めの障害受容やったんちゃうかな。山本敏晶さんの「色々出来るんやで。」というほんまに簡単な一言「キャンプにおいで。」とも言ってくれて、山本さんも僕にちゅうぶを見てもらいたかったんやと思います。すみよくのケースワーカーの人にも「玉木さんみたいな障害で一人暮らししてる人いっぱいいるよ。」と言葉の後押しもあったかなと思います。自分で考えて行動するのが一人暮らしとか子育てで思うことで、それが本当にできるっていうのは嬉しいです。施設におったら何も考えなくても施設の人がしてくれて守られていたので、しっぱい けいけん くらや 失敗する経験ができなかったのが悔しかったです。

～スキルアップしていきたい～

やました し せつ せいかつ
山下：これまで、施設での生活のしんどさやちゅうぶの障害者との出会い等を話してもらいましたが、今はどんな生活を送っていますか？

たまき ねん けっこん こ いま さい よめ
玉木：2007年に結婚して子どもは今10歳です。嫁にも子どもにも知的障害があります。子どもが障害を持ったということがショックで「なんでお前もやねん。」と思いました。でも、泣いてても何も始まらんかなと。子どもには「やりたいことあったらどんどん言ってね。」と教えています。嫁や子どもの障害について僕自身が受容できてるんかなと悩む時があります。だから今、ちてきしょうがい しら おも 知的障害のことを調べたいと思ってて、

かんたん じゅうよう むずか
簡単に受容するのは難しいかもしれないけど、僕の場合は色々なひとと話すことしかできないと思うから一緒に考えてあげたり、これからもしたいと思います。話すことで自分も受容していくと思うし、相手にも受容してもらえと思うので。「障害があってもこんなにいい生活も出来るんやぞ！」と。これからは、いろんな人の相談支援をしていきたいです。その中で、スキルアップ出来るかなというのもあるし、いろいろ挑戦したいと思います。

やました
山下：プライベートでしたいことありますか？

たまき かぞく にん りょうこう
玉木：プライベートでは家族3人で旅行がしたいです。この前、1泊2日で東京スカイツリーに行ってきました。今度は2泊3日で旅行に行きたいと思っています。

やました さいご き いま たまき
山下：最後にお聞きします。今、玉木さんが、ちゅうぶで取り組んでいることややってみたい活動はありますか？

たまき こうつう かんけい かいぎ さんか
玉木：交通アクセスに関する会議に参加してて、でんしや す がいいところ 電車が好きだから、いろんな所に外出して街のバリアフリーも調べたいです。

やました しょうがいしゃ す まち
山下：これからも障害者が住みやすい街づくりを目指して一緒に活動していきましょう。きょう 今日ありがとうございました。

たまき
玉木：ありがとうございました。



にしきのはま ちょうさ
二色浜でハートフルゲート調査もしました。

ぼう さい かた 防災について語ろう

だい かい 第5回

このコーナーでは、防災についてそれぞれの情報を持ちより、防災に関する知識を増やし、生活の中に
取り入れていくと同時に、防災に対する意識を高めることがねらいで座談会をし、その様子を掲載して
きました。今回は、大阪市住之江区にあるNPO法人自立生活夢 宙 センター（以下：夢 宙 センター）
の内田 瞳 さんにお話 をお聞きしました。内田さんは阪神・淡路大震災を経験された方で夢 宙 センタ
ーでは防災担当として活動されています。

●内田 瞳 さんのプロフィールや学生時代の頃、夢 宙 センターに関わるきっかけなどを紹介します。

名 前：内田 瞳（36歳）

障 害 名：骨形成不全症

出 身：兵庫県神戸市東灘区

趣 味：海外旅行（今まで行ったことのある国アメリカ、ネパールなど）

・学生時代のこと（小学校から大学まで）

ずっと一般校に通い、高校生までは神戸で母親
の車の送り迎えて通学しました。どの学校でも
私のような重度障害者の入学受け入れは初め
でだったようです。大学から大阪に来て、寮での
一人暮らしがスタートし、そこから現在まで
一人暮らしが続いています。ヘルパー制度等は使
ってきていないので、当時は周りの人たちに手伝
ってもらい、楽しい学生生活を送りました。体育
や運動会や遠足や修学旅行等、なるべく周りのみ
んなと一緒に動きたいという希望を先生方も聞
き入れてくださり、青春時代を謳歌しました！

・一人暮らしで楽しいこと、悩むこと

時間を自由に使えるということや、自分の好き
なことを追求できるのが一人暮らしの醍醐味だ

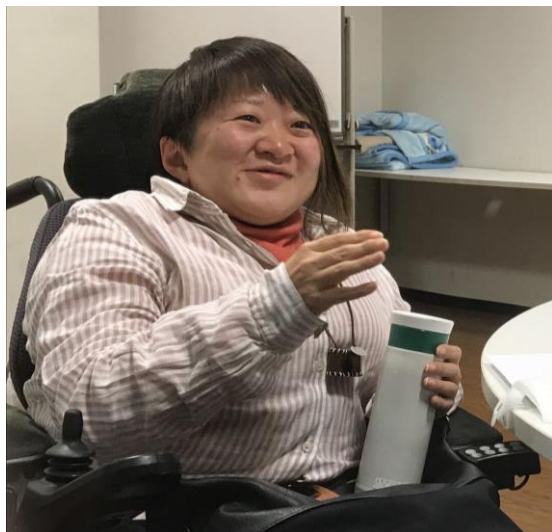
と感じています。同時に、難しいと感じる場面も
多々あり、自立生活は奥が深いなあと思います。
特に地域との繋がりを作っていく時に、悩むこと
があります。

・介助者との関係で意識していること

介助中、なるべく一緒に楽しく過ごすことを
心がけています。ほとんどは優しく接し、時々は
厳しさも。アメとムチの割合を9:1 ぐらいですか
ね（笑）介助者の年齢層が若い人が多いので時代
背景や感覚の差に戸惑うことも多いですが、焦ら
ずに丁寧に指示を伝えながら、長い目で介助者を
育てていくことを日頃は意識しています。

・夢 宙 センターに関わるきっかけ
代表や副代表と同じ骨形成不全症なので元々
知り合っていて、私の調子が悪い時もずっと気に
かけてくださっていました。心身共に調子を崩し
ていめい、とき、む 宙 センターの仲間になりま
せなか？と救っていただきました。そこから
当事者スタッフにならせていただき今に至りま
す。

・今後、防災以外に取り組みたいこと
一昨年あたりから夢 宙 センターは地域交流に
力を入れています。防災にも通じることですが、
地域住民と一緒にまちづくりをしていきたいと
考えていて、他職種の方たちと出会い、繋がり、
コラボしていくのがとても楽しくてやり甲斐を
感じています！またその繋がりで小学校と出会
い、小学生や親御さんたちとも出会う機会が増え
ました。子どもたちにも一緒にまちづくりに参加
してもらい、おもしろい企画を通して繋がり、
住之江の地域に当たり前に障害者がいて自然に
コミュニケーションを図れるようなステキな街
にしたいと考えています！！



~~~~~  
ここから、内田さんインタビュー  
～防災担当をしています～

やました 山下、小坪：今日はよろしくお願ひします。  
うちだ 内田：よろしくお願ひします。  
やました 山下：今年度のナビゲーションでは、防災につい  
て取り上げています。これまでは、ちゅう  
ぶ（NPO法人ちゅうぶ 以下：ちゅうぶ）  
の生活介護に通っている障害者に災害が  
起こった時の為にどんな準備や工夫をし  
ているか、避難場所は知っているかなど  
座談会をしてお聞きしてきましたが、ちゅ  
うぶの障害者だけに聞くのではなくて、他  
団体の障害者は防災に対してどんな準備  
や取り組みをしているのかをお聞きした  
いと思います。

こつぽ 小坪：ちゅうぶでも防災のことに取り組んでいま  
す。ちゅうぶは大和川に近いということも  
あり地震だけでなく、川の氾濫とも意識  
をしていかないといけないと思っていま  
す。相談者やちゅうぶ関係者がどこに住ん  
でいて支援や救助の必要性はどれぐらい  
あるのかリストアップをしています。  
やました 山下：今日は、ちょうど阪神・淡路大震災が起き  
て23年ですね。

うちだ 内田：そうですね。特別な日に来てくださってあ  
りがとうございます。  
やました 山下：午前中に何か取り組みはされたんですか？  
うちだ 内田：やろうかなぐらいは思ってたんですけど、  
わたし 私も仕事に追われていて、夢 宙 センター  
で防災担当が4人いるんですけど、その中  
で文章を考えて、今日お昼頃に防災担当  
からののお知らせということで、文章は私  
が作り、他の3人にも確認してもらって夢  
宙 センター全体にLINEしました。  
やました 山下：LINEは、例えば生活介護に通っている  
障害者にも送ってるんですか？



うちだ はけん む ちゅう かか  
内田：そうですね。派遣だけ夢 宙 センターに関わ  
っている人にも送っていると思います。

こつぽ そうとう にんずう  
小坪：相当な人数になりますよね。

うちだ にん ふく  
内田：165人ぐらいかな。ヘルパーももちろん含め  
てです。夢 宙 全体LINEは、もちろん防災  
のことだけで使うのではなく、イベントの  
お知らせであったりとか、新しいヘルパー  
が入ってきたこととかをLINEして夢 宙  
全体でヘルパーを大事に育てましょう。と  
いうことをしています。

こつぽ ぼうさいたんとう にん かた たんとう  
小坪：防災担当4人は、どんな方が担当している  
んですか？

うちだ だんじょ り しょうがいしゃ めい けんじょうしゃ めい  
内田：男女2人ずつ、障害者2名、健常者2名とい  
うふうに上手くバランスが取れていると  
思います。もともと夢 宙 センターで「私、  
ぼうさいのことがやりたい！」と言ってきて、な  
かなか形にもならなくて、一人で熱く語っ  
てても松岡修造さんみたいで、私、防災の  
まつおかしゅうぞう よ ひとり  
松岡修造と呼ばれているんですけど。一人  
だけ熱くてももったいないというか、この  
あつ まわ つた おも  
熱さを周りにも伝えたいと思っています。



ねん がつ む ちゅう いっぱく しゅくはくたいけん  
2015年3月 夢 宙 一泊宿泊体験

ゆか うえ ねむ たいへん  
床の上で眠ることがこんなにも大変だとは…

## はんしんあわじだいしんさい けいけん ～阪神淡路大震災を経験して～

こつぽ はんしんだいしんさい けいけん  
小坪：それは、やっぱり阪神大震災を経験してい  
るからこそですよ。

うちだ じぶん つよ おも ひがしなだく  
内田：そこが自分の強みかなと思ってて、東灘区

す しん ど けいけん  
に住んでいたもので、震度7を経験しました  
し、障害者でいる状態で被災もしていま  
す。同じ神戸でも被害に差があったりして、  
ひがしなだく なだく な が た く とく ひが い おお  
東灘区、灘区、長田区が特に被害が大きか  
ったかなと思うんですが。

やました じたく ひさい  
山下：自宅で被災をしたということですが、ケガ  
はなかったんですか？

うちだ だいじょうぶ じぶん からだ ちゅう う  
内田：大丈夫でした。自分の体がフワッと宙に浮  
いて、気付いたら母が上に覆い被さってい  
て。母も子を守らないといけないと思って  
かぶ おも ぼ せいほんのう  
被さってくれたんだと思います。母性本能  
ですかね。

やました ほか ひが い  
山下：他にはどんな被害がありましたか？

うちだ じしん ちよつかがた た ゆ  
内田：地震は直下型だったので、まず立て揺れが  
あつて、その後長く揺れてて、その場 景を  
いま おぼ じ ひ び おぼ  
今でも覚えています。地響きも覚えてます  
し、家具が全部倒れて、ガラスも全て割れ  
たりしました。母と一緒に寝てた部屋があ  
まり背の高い家具がなかったんですが、住  
める状態じゃなかったです。

こつぽ ひなん  
小坪：それから避難したんですか？

うちだ わたし だいじょうぶ まわ  
内田：私のマンションは大丈夫でしたが、周りは  
もくぞう いっけんや おお か じ  
木造の一軒家が多かったので、火事がす  
ごくマンションの人たちと声を掛けあ  
って逃げました。逃げるにしても方向が  
わからないから、火事もすごいしお昼の  
じかん まち くら はい  
時間になっても街が暗いんですよ。灰や  
すす 煤がひどくて。どこにどう逃げたらいい  
のか分からなかったんですけど携帯ラジ  
オを使って「あっちかな、こっちかな。」  
い ひなん まちぜんたい ひ  
と言いながら避難しました。街全体が火  
に包まれていて、たぶん写真で見たら  
せんそうちゅう かん おも  
戦争中みたいな感じだと思うんですけど。

やました くるま の ひなん  
山下：車いすに乗って避難したんですか？

うちだ まわ じぶん こんらん  
内田：周りもそうですけど、自分も混乱してるし、



わたし　くるま　かぞく  
私は車いすじゃなくて家族におんぶして  
もらって逃げたと思います。

やました　ひなんじょ　せいかつ  
山下：どれぐらい避難所で生活してたんですか？

うちだ　ひなんじょ　せいかつ　すうじつ　おも  
内田：避難所で生活したのは数日やったと思います。  
ひなんせいかつ　いったんいえ　かえ  
す。避難生活もままならず、一旦家に帰っ  
てきて、でも部屋の中もぐちゃぐちゃです  
よしん　こわ　こわ　よしん  
し、余震もあったので怖くて怖くて、余震  
があったらピアノの下に潜ってました。

こつぽ　なが　よしん　つづ  
小坪：長く余震は続いたんですね。

うちだ　けっこう　ゆ　つづ　いえ  
内田：そうですね。結構、揺れが続いていて、家  
なか　あんぜん　ばしよ  
の中で安全な場所ってどこにもないなと  
おも　いえ　ひなんじょ　い　き  
思っ。家と避難所を行ったり来たりして  
おも　ひなんじょ　せいかつ  
たと思うんですけど、避難所での生活って  
いうのも、今でも障害者が避難しても  
かんきょう　ととの　き  
環境がまだまだ整わないっていうのは聞  
ねんまえ　はなし  
きますし、23年前の話なので、プライバ  
まった　じかん  
シーも全くなかったやろうし。2時間ぐら  
いかけて線路沿いにパンを買いに行った  
きおく　かぞく　にん　こ  
記憶もあるんですけど、家族4人で1個だっ  
おも　びちく  
たと思います。備蓄とかもしてなかったし、  
す　つづ　じょうたい　いえ　お  
住み続けられる状態でもないし、家に置い  
かね　ばしよ　だいじようぶ　わたし  
てるお金の場所は大丈夫だったので、私の  
りょうしん　ながさきけんしゅっしん　ひ　こう　き　ながさき  
両親が長崎県出身なので、飛行機で長崎  
いえ　はる　い  
の家に春ぐらいまで行きました。ライフラ  
ぜんぜん　ふつきゅう  
インも全然、復旧しなさそうだったので。

## ふっこう　お ～復興は終わることがない～

やました　ながさき　がっこう　かよ  
山下：長崎では学校に通ってたんですか？

うちだ　がっこう　かよ　ねんまえ  
内田：学校には通ってなかったです。23年前です  
しょうがい　じ　かよ　がっこう  
し、障 害児が通える学校があったかどうか。  
わたし　にゅうがくきょ　ひ　あじ  
私も入学拒否をいっぱい味わっています  
べんきょう　い　ぜん　ひと　ひと　く　と  
ので。勉強とか以前に人々の暮らしを取り  
もど　じ　かん　にちじよう  
戻すまでにすごい時間かかりますし、日常  
と　もど　き　も　もど  
を取り戻すにも気持ちがなかなか戻らな  
こんらん　なか　しんしん　ささ  
いので。混乱する中で心身ともみんなで支

あ　ふっこう　む　かぞく　ささ  
え合いながら復興に向けて、家族でも支え  
あ　かぞく　いがい　ささ  
合いましたし。家族以外からも支えてもら  
い　いま　おも  
ったので、今があるんだろうなと思います。

こつぽ　こう　べ　もど　こ　おも  
小坪：神戸に戻って来ようと思ったきっかけはな  
んだったんですか？

うちだ　がっこう　はじ　げつ  
内田：学校が始まるからじゃないですかね。3ヶ月  
す　こ　ふっこう　う　ご　はじ  
もしたら少しずつ復興に動き始めるとい  
がっこう　が　つ　おも  
うか。学校は4月からスタートしたと思い  
ふっこう　お  
ます。復興が終わることはたぶんないやろ  
がっこうさいかい　こう　べ　もど  
など。学校再開したりとか、神戸に戻って  
きたりとかちょっとずつ日常を取り戻し  
き　も　す　こ　もど  
ていくことで気持ちも少しずつ戻してい  
かん  
ったっていう感じですかね。

やました　りょうしん　いま　す  
山下：両親は、今はどこに住んでいるんですか？

うちだ　こう　べ　す　ふる  
内田：神戸に住んでいます。マンションは古いで  
いがい　つく  
すが、意外に造りはしっかりしてたので、  
ぜんたい　しず　はんかい  
マンション全体は沈んだんですけど。半壊  
まわ　もくどう　いえ　おお  
だったかな。周りは木造の家が多かったの  
たくさん　かた　な  
で、やっぱり沢山の方が亡くなりました。

やました　しんさいご　いちばんさいしよ　か  
山下：震災後、一番最初に変わったところはあり

ますか？

うちだ　がっこうさいかい　おお　ながさき　かえ  
内田：学校再開は大きかったです。長崎に帰って  
ともだち　つた　ころ  
ることも友達に伝えてなかったし、あの頃  
けいたい　ふきゅう　おも　がっこう  
携帯とかまだ普及してないと思うし。学校  
さいかい　いえ　なか　にちじようせい　かつ　じ　しん　まえ  
が再開して家の中でも日常生活を地震前  
あと　おな　せい　かつ　と　もど　はじ  
と後とで同じような生活を取り戻し始め  
とき　ふっこう　かん  
た時に復興していこうみたいな感じ です  
かね。まだ復興し終わったとは思ってない  
ふっこう　お　おも  
し。神戸もきれいになったねと言ってくれ  
こう　べ　い  
るけど、そんな簡単なものではないし。

こつぽ　しんさい　まえ　し  
小坪：それこそ震災前を知っているだけにね。

うちだ　がっこう　さいかい　かせ　つ　じゅう　たく　べんきょう  
内田：学校が再開しても仮設住宅で勉強してた  
しんせん  
ので、新鮮でしたけどね。

やました　こう　つ　う　き　かん  
山下：交通機関とかどうでしたか？

うちだ　がっこう　おく　むか　は　は　くる　ま  
内田：学校の送り迎えは母が車でしてくれていた

ので、電車とかバスとかあんまりよくわからないですけど。道なき道をゆく感じでした。自分たちが住んでいた街だったかなと思うぐらい一変したと思います。

山下：避難所生活で困ったことや、周りに障害者がいたりしましたか？

内田：トイレとかいけたんかなと。記憶にないです。いやあ、自分自身が車いすで避難してないので、1か所で座ったままの状態だったので。避難所で周りの人を見渡すということは全然できてなかったし余裕がありませんでした。避難所の中でも大混乱なので。当時は一人になるのがすごく恐かったです。親がトイレに行く時も「一人にしないで！」って言うてたと思います。

小坪：いろんな経験を含めて今の防災の取り組みに活かしているという感じですね。今は、マンションで生活されているんですか？

内田：今はマンションの4階に一人で住んでいますけど、今までは1階にずっと住んでいて、災害の時にエレベーターが使えないのは困るので、ずっと1階に住んできたんですけど、初めて4階に住んでいて「これはヤバイ！」と思ってるんですけど。

小坪：それは、1階が空いていないからですか？

内田：空いてなかったのもあるし、高齢者専用住宅に住んでますが、1階の廊下に段があって1階が空いてたとしても私たち車いすの人は住めない造りになっていて。

山下：高齢者専用住宅で段があるのは困りますね。

内田：そうなんです。夢宙センターの近くで家を見つけないかと思って。この辺りはワンルームがあんまりないんですよ。私が決めたマンションも夢宙センターまで歩いて15分ぐらいかかるので。

山下：ワンルームがいいんですか？

内田：私は車いすから降りて家では生活してるから広すぎると大変なので。私が住み始めてから夢宙センターの当事者も住み始めて、自身体験室も2部屋借りてます。4階に住んでいるので津波の時は良いかなと。

## ～災害時の為に準備しているもの～

山下：避難グッズとか用意していますか？

内田：エレベーターを使って避難出来ないと思っているので、避難グッズとかも家でしばらく凌げるぐらいの水とか食料とかあった方がいかなと思っていて、避難所ではなくて家で数日凌げたらいいなって。水とか多めに持っています。お菓子とかも買って賞味期限の早いものから食べていって災害用にとというのはあんまりないですね。

山下：買ったけど、食べてへんかったら賞味期限切れていきますよね。

内田：食べ物も大事ですが、阪神大震災で思ったのが、災害の時はATMも壊れるから意外に現金があればいいなと思いました。お金は現金で置いてます。あとは、枕元にヘルメットとライトと携帯ラジオを置いています。それと、電動車いすの充電は毎日していますね。普通の移動なら2日間ぐらいは持つらしいんですけど。車いすには悪いかもしれないですけど災害の時に充電がなかったら大変なので。あと笛はいつも持ち歩いています。災害の時は人の声がなかなか聞こえないので。

小坪：他に持ち歩いているものはありますか？

内田：震災時、空気がすごく悪くて、咳が止まらなくて気管支炎になったので、マスクをするようにしています。大自然は偉大で人間

むりょく おも ひとり  
は無力やなと思います。やっぱり一人では  
生きていけないので周りとうつな  
繋がるか  
かんが い さいごじぶん いのち  
考えて行きたいです。最後自分の命をど  
う守れるか、周りの人とうつな  
繋がるか、物  
かんが だいじ  
を考えるより大事なこともかもしれません。



あたま まも きょうくん い じょう まくらもと  
**頭を守るという教訓を活かしベッド上の枕元**  
じょうび けいたい  
**にヘルメットを常備。ライトと携帯ラジオも！**

やました まわ ひと つな だいじ  
山下：周りの人とうつな  
繋がるか大事ということで  
たと ちょうないかい はい じちたい  
すが、例えば、町内会に入ったり、自治体  
ひなんくんれん さんか  
の避難訓練に参加していますか？

うちだ はい ぼうさいたんとう はい  
内田：入ってないんですけど、防災担当とは入っ  
てみようかと話しています。町会長の  
ひと あいさつ ちょうかい まち  
人と挨拶をするようになって町会とか街  
づくりとかどんなふうにしてるんやろと、  
ぼうさい し わたし  
防災をきっかけにもっと知りたいのと、私  
ちいき はい こ  
ももっと地域に入り込んでいきたいなと  
おも わたし わか  
思うようになりました。私たちみたいに若  
せだい まち さんか  
い世代がいかに街づくりに参加するかが  
だいじ おも  
大事だと思うので。

こつぽ ぼうさい じちたい おんどさ  
小坪：防災について自治体によって温度差がある  
んですかね。

うちだ ちいきせい しやうがい  
内田：地域性もあるでしょうし。そこに障害  
とうじしや はい こ だいじ  
当事者がどこまで入り込めるかが大事だ  
おも となり す ひと かいわ  
と思います。隣に住んでいる人と会話をし  
かんりにん い あいさつ  
たりとか、管理人さんが居てるので挨拶

ていど じぶん いのち まも  
程度はしています。自分の命を守っていき  
たいとおも ぼうしゅう なかま  
思いますし、夢宙センターの仲間の  
いのち まも  
命も守って行きたいです。

## おんどさ かん ～温度差を感じることも～

やました ぼうしゅう ぼうさい と く  
山下：夢宙センターで防災の取り組みをしていく

なか おんどさ かん  
中で温度差を感じることはありますか？

うちだ ぼうさいたんとう なか かん あべの ぼうさい  
内田：防災担当の中でも感じます。阿倍野防災セ

んターで震度7体験が出来るので夢宙メ

ンバーにも体験してほしいなと思ってい

ます。語り部にはなりたいたなと思っ

てんですけど、やっぱり日常やりたいこと、

やらないといけないことがあると思うの

で優先順位が防災はどうしても後回しに

なっています。夢宙センターと、

すぺーすしやとる（すぺーすしやとるは夢

宙センターの生活介護事業所）のメンバー

とも温度差があつて、あまり言い過ぎると

ふあん あお  
不安を煽るだけになってしまうので。だか

ら難しいなと思うんですけど伝えていき

たいし。みんなの命も自分の命も守って

いきたいし、地震だけでなく色々ある

けど自立生活を守っていきたくから言う

んだよとは伝えていますが難しいですね。

しょうがいしや なか はんたん むずか ひと  
障害者の中でも判断が難しい人もいると

おも ふだん じ こ けつてい じ こ せんたく さき  
思うので。普段、自己決定・自己選択が先

にあると思うんですけど、災害時はどこま

でそれを取り入れるのかが難しいです。

さいがい つく ぼうしゅう  
災害マニュアルも作ってないですね。夢宙

センターで防災講座をした時は避難経路

を地図に書き込んだり、避難経路を歩いて

みようという企画もしました。公園のトイ

レが使えるか調べたりしました。

こつぽ ちいき じりつしえんきやうぎかい なに と く  
小坪：地域自立支援協議会で何か取り組みをして

いることはありますか？

うちだ じりつしえんきょうぎかいとうじしゃぶかい ふくしひなんじょ  
内田：自立支援協議会当事者部会で福祉避難所に  
行ったりしています。マニュアルは大事だ  
けど、それに縛られるのはよくないし、作  
っただけで満足するのもよくないと思  
います。防災の話 ヘルパーともしますし、  
いのち じりつせいかつ つた  
命 あつての自立生活だよ。と伝えています。



おおさか まんにんくうれん とき む ちゆうない こうざ かいさい  
大阪880万人訓練の時、夢宙内でミニ講座を開催

## ち い き つな だいじ ～地域との繋がりを大事にしています～

やました はなし で き  
山下：ヘルパーの話が出たのでお聞きしたいんで  
すが、ヘルパーと家（いえ）にいて、災害（さいがい）が起き  
た時（とき）に、一緒（いっしょ）に家に留（とど）まるか、一緒（いっしょ）に逃げ  
るか。助け（たす）を呼（よ）んできてと頼（たの）むかどの選択（せんたく）  
をす（おも）うと思いますか？

うちだ とき はんだん おも かえ  
内田：その時の判断（はんぱん）だと思います。帰（かえ）ってもらっ  
た方（ほう）が危険（きけん）な時（とき）もあるし一緒（いっしょ）にいてほし  
かったらお（おも）ってもら（もら）うかな。ヘルパーとの  
かんけい たいせつ だいさいがい とき  
関係（かんけい）も大切（たいせつ）ですが、大災害（だいさいがい）の時（とき）じゃなくて  
ち い き つな ほう だいじ  
も、地域（ちいき）と繋（つな）がっていること（こと）の方が大事（だいじ）だ  
おも  
と思います。

こつぽ ち い き つな だいじ  
小坪（こつぽ）：地域（ちいき）との繋（つな）がり（が）が大事（だいじ）ということですが、  
ぐたいてき  
具体的（ぐたいてき）には、どんなこと（こと）を（を）していますか？

うちだ えぬびーおーきぎょうがっこうこうりゅうかい ねんまえ む ちゆう  
内田：NPO企業（えんぴーおーきぎょう）学校（がっこう）交（こう）流（りゅう）会（かい）に 2年前（ねんまえ）から夢宙（む ちゆう）  
さんか  
センター（せんたー）も参（ま）加（か）さ（さ）せてもら（もら）っています。  
がっこうちやう ちゆうしやうきぎやう さんか かい  
学校（がっこう）長（ちやう）と（と）か中（ちゆう）小（せう）企業（ぎやう）も参（ま）加（か）して（して）会（かい）  
しゃ ふう うご べんきやう  
社（しゃ）つて（と）こんな風（ふう）に動（うご）いて（いて）るん（ん）や（や）とか勉（べん）強（きやう）

ち い き かた  
させ（さ）せられること（こと）があ（あ）つたり、地域（ちいき）の方（かた）の  
はなし き しげき う たが  
話（わ）を聞（き）いて（いて）いると刺（し）激（げき）も受（う）けるし、お互（たが）  
ち い き こうけん なに はつびやう  
い（い）に地域（ちいき）貢（こう）献（けん）は（は）何（なに）が（が）で（で）きるか（か）発（は）表（びやう）し（し）たり  
ち い き こうりゅう ゆた  
して（して）います。地（ち）域（いき）交（こう）流（りゅう）が（が）だ（だ）い（い）ぶ（ぶ）豊（ゆた）か（か）にな  
って（て）き（き）て（て）い（い）るかな（な）と。2（め）つ（しやう）目（め）は（は）小（しょう）学（がく）校（こう）の  
じゆぎやう ほうもん きゆうしよく  
授（じゆ）業（ぎやう）に訪（ほう）問（もん）さ（さ）せて（て）もら（もら）って、給（き）食（しよく）も  
いっしょ た かえ  
一（いっ）緒（しょ）に食（た）べ（べ）て（て）帰（かえ）っ（っ）て（て）き（き）たり（り）も（も）し（し）ま（ま）す。

やました きゆうしよく いっしょ た  
山下（やました）：給（き）食（しよく）を（を）一（いっ）緒（しょ）に食（た）べ（べ）る（る）こと（こと）は、ち（ちゅう）う（ぶ）の  
せいいかつ い ご かつどう  
生（せい）活（かつ）介（かい）護（ご）の活（かつ）動（どう）で（で）も（も）や（や）っ（っ）て（て）い（い）ま（ま）す。

うちだ きゆうしよく た きより ちか  
内田（うちだ）：給（き）食（しよく）を（を）食（た）べ（べ）ると距（き）離（り）が（が）近（ちか）くな（な）つたり（り）しま  
す（す）よ（よ）ね。小（しょう）学（がく）生（せい）と繋（つな）がる（る）こと（こと）によ（よ）って（て）地（ち）域（いき）  
こうりゅう ゆた たと しょうがいしゃ  
交（こう）流（りゅう）が（が）豊（ゆた）か（か）にな（な）って（て）、例（たと）え（え）ば障（しょう）害（がい）者（しゃ）や  
こうれいしゃ さいがい と き おく  
高（こう）齢（れい）者（しゃ）は（は）災（さい）害（がい）の（の）時（とき）つ（つ）て（て）逃（お）げ（げ）遅（ち）れる（る）とい（い）う  
イメージ（えいぎ）が（が）あ（あ）つたり、要（よう）援（えん）護（ご）者（しゃ）、社（しゃ）会（かい）的（てき）  
じゃくしゃ い おも わたし  
弱（じゃく）者（しゃ）と（と）言（い）わ（わ）れ（れ）る（る）と思（おも）う（う）ん（ん）で（で）す（す）けど、私（わたし）た  
ち（ち）も日（にち）常（じやう）か（か）ら（ら）も地（ち）域（いき）貢（こう）献（けん）で（で）きる（る）し私（わたし）た（た）ち（ち）  
に（に）しか（か）で（で）き（き）ない（ない）こと（こと）も（も）あ（あ）る（る）だ（だ）ろ（ろ）う（う）し。自（じ）立（りつ）  
せいいかつ つた  
生（せい）活（かつ）セン（せん）ター（たー）と（と）して（して）伝（でん）え（え）ら（ら）れる（る）こと（こと）も（も）あ  
る（る）だ（だ）ろ（ろ）う（う）し、私（わたし）た（た）ち（ち）も地（ち）域（いき）の（の）お（お）役（やく）に（に）立（た）て（て）ま  
す（す）よ（よ）と子（こ）ども（ども）達（たち）と一（いっ）緒（しょ）に発（は）信（しん）して（して）い（い）き（き）たい（たい）  
い（い）です。若（わか）い（い）人（ひと）た（た）ち（ち）に防（ぼう）災（さい）の（の）こと（こと）も（も）そう（そう）だ  
しょうがいしゃ いっしょ ち い き ま  
し、障（しょう）害（がい）者（しゃ）も（も）一（いっ）緒（しょ）に地（ち）域（いき）に混（ま）ぜ（ぜ）て（て）ね（ね）とい（い）う  
しょうがくせい ちい  
メ（メ）ッセ（せ）ー（ー）ジ（じ）を（を）小（しょう）学（がく）生（せい）と（と）か（か）な（な）る（る）べ（べ）く（く）小（こ）さい（さい）  
こ つた ち い き  
子（こ）ども（ども）の（の）う（う）ち（ち）か（か）ら（ら）伝（でん）え（え）て（て）い（い）く（く）こと（こと）が（が）地（ち）域（いき）  
つな ひつやう おも  
と（と）繋（つな）がる（る）た（た）め（め）に（に）必（ひつ）要（やう）か（か）な（な）と思（おも）い（い）ま（ま）す。

やました ほんとう ち い き つな だいじ  
山下（やました）：本（ほん）当（とう）に（に）地（ち）域（いき）と（と）の（の）繋（つな）がり（が）は（は）大（だい）事（じ）で（で）す（す）よ（よ）ね。そ  
さいがい と き ひごろ  
れ（れ）は（は）、災（さい）害（がい）の（の）時（とき）だ（だ）け（け）じゃ（じゃ）な（な）く（く）て（て）日（にち）頃（ころ）か（か）ら（ら）  
たいせつ おも きやう  
大（だい）切（き）に（に）し（し）て（て）い（い）き（き）たい（たい）と思（おも）い（い）ま（ま）す。今（け）日（にち）は（は）、  
はんしん あわじだいしんさいとうじ はなし  
阪（はん）神（しん）・淡（あわ）路（ろ）大（だい）震（しん）災（さい）当（とう）時（じ）の（の）お（お）話（わ）を（を）し（し）て（て）い（い）た（た）だ  
さいがい そな じゆんぴ  
い（い）たり、災（さい）害（がい）に（に）備（ひ）え（え）て（て）準（じゆん）備（び）する（る）もの（もの）で（で）、  
げんきん じゆんぴ ほう あらた  
現（げん）金（きん）は（は）準（じゆん）備（び）し（し）て（て）お（お）い（い）た（た）方（かた）が（が）い（い）い（い）な（な）ど（ど）改（あらた）め  
き きやう  
て（て）気（き）づ（づ）か（か）さ（さ）れた（た）もの（もの）も（も）あ（あ）り（り）ま（ま）し（し）た（た）。今（け）日（にち）は（は）、  
ちやうじかん  
長（ちやう）時（じ）間（かん）あ（あ）り（り）が（が）と（と）う（う）ご（ご）ざ（ざ）い（い）ま（ま）し（し）た（た）。

うちだ  
内田（うちだ）：あ（あ）り（り）が（が）と（と）う（う）ご（ご）ざ（ざ）い（い）ま（ま）し（し）た（た）。



# い 行きつけのお店紹介します

だい かい  
第14回

今回は、ナビゲーション 2016年11月号「防災について語ろう」のコーナーで取材させていただきました。  
星野勝史さんに「がんこ なんば本店」を紹介してもらい一緒にに行ってきました。

ちょう さ び ねん がつ にち げつ  
調 査 日 : 2018年2月12日 (月)  
ちょう さ しゃ しゅうくるま しょうしゃ めい でんどうくるま しょうしゃ めい  
調 査 者 : 手動車いす使用者1名、電動車いす使用者1名  
ちょうさばしよ ほんてん  
調査場所 : がんこ なんば本店  
じゅう しょ おおさかしちゅうおうく  
住 所 : 〒542-0076 大阪市中央区なんば 3-1-15  
でんわばんごう  
電話番号/ファックス : 06-6644-6396/06-6633-6646  
えいぎょうじかん  
営業時間 : 11:00~23:00 (ラストオーダー22:30)  
きやく せき すう そうせきすう せき こしつ へ や  
客 席 数 : 総席数 352席 個室 15部屋  
てい きゅう び ねんじゅうむきゅう  
定 休 日 : 年中無休  
アクセス : 大阪市中央区難波3-1-15  
なんばえきいっかいきたでぐち なんかい し ほうめん でぐち と ほうやく ふん  
難波駅一階北出口 (南海市バス・タクシー方面) 出口から徒歩約2分  
きんてつにっぽんばしばしえきびー でぐち と ほうやく ふん  
近鉄日本橋駅 B 21出口から徒歩約2分  
えき でぐち と ほうやく ふん  
なんば駅1出口から徒歩約3分

## 【なんばオリエンタルホテル】



星野さんとなんばオリエンタルホテルで待ち  
あ 合わせをしました。入口は回転ドアになってい  
ます。身障者ボタンを押すと回転がゆっくり  
になります。回転ドアの両隣りに手動の扉も  
あります。1階に車いすトイレがありました。

## 【が<sup>ほんてん</sup>んこ なんば本店】

星<sup>ほしの</sup>野<sup>の</sup>さんは、なんばに外<sup>がいしゅつ</sup>出<sup>と</sup>する時<sup>とき</sup>は、が<sup>ちゅうしょく</sup>んこで昼<sup>た</sup>食<sup>た</sup>を食べるそうです。が<sup>すし</sup>んこは、お寿<sup>すし</sup>司<sup>し</sup>やうどんなど食<sup>た</sup>べることができ<sup>わふう</sup>る和<sup>みせ</sup>風<sup>いりぐち</sup>のお店<sup>じどう</sup>です。入<sup>いりぐち</sup>口<sup>じどう</sup>はフラットで自<sup>じどう</sup>動<sup>じどう</sup>ド<sup>じどう</sup>ア<sup>じどう</sup>になっ<sup>じどう</sup>ていま<sup>じどう</sup>す。



店<sup>てん</sup>内<sup>ない</sup>を入<sup>はい</sup>って右<sup>みぎ</sup>側<sup>がわ</sup>にカウ<sup>せき</sup>ンタ<sup>ひだり</sup>ー席<sup>がわ</sup>。左<sup>せき</sup>側<sup>い</sup>にテー<sup>い</sup>ブル<sup>どう</sup>席<sup>てん</sup>があり椅子<sup>てん</sup>は移<sup>てん</sup>動<sup>ない</sup>するこ<sup>てん</sup>とができます。店<sup>てん</sup>内<sup>ない</sup>は、少<sup>すこ</sup>し狭<sup>せま</sup>いですが複<sup>ふく</sup>数<sup>すう</sup>の車<sup>くる</sup>いすでも入<sup>はい</sup>れる店<sup>みせ</sup>になっ<sup>ほしの</sup>ていま<sup>つく</sup>す。星<sup>ほしの</sup>野<sup>の</sup>さんは、お造<sup>つく</sup>り4種<sup>しゅも</sup>盛りとご飯<sup>はん</sup>を食<sup>た</sup>べていま<sup>た</sup>した。



が<sup>い</sup>んこへ行<sup>あと</sup>った後<sup>き</sup>は、CAPTAIN TERRY COFFEE STADIUMへ行<sup>てりー</sup>きました。  
場<sup>ば</sup>所<sup>しょ</sup>はオリエンタルホ<sup>ちか</sup>テルのすぐ近<sup>ほしの</sup>くにありま<sup>かい</sup>す。い<sup>かい</sup>つも星<sup>ほしの</sup>野<sup>の</sup>さんはこ<sup>かい</sup>こで介<sup>かい</sup>護<sup>ご</sup>者<sup>しや</sup>と交<sup>こう</sup>代<sup>たい</sup>をするた<sup>てん</sup>め、時<sup>じ</sup>間<sup>かん</sup>ま<sup>の</sup>でゆっ<sup>いり</sup>くりコー<sup>とびら</sup>ヒーを飲<sup>しゅ</sup>んでいま<sup>とびら</sup>るさ<sup>てん</sup>うで<sup>ない</sup>す。入<sup>いり</sup>口<sup>ぐち</sup>はフラットで扉<sup>とびら</sup>は手<sup>しゅ</sup>動<sup>どう</sup>扉<sup>とびら</sup>でし<sup>てん</sup>た。店<sup>てん</sup>内<sup>ない</sup>の通<sup>つう</sup>路<sup>ろ</sup>は少<sup>すこ</sup>し狭<sup>せま</sup>いですが、複<sup>ふく</sup>数<sup>すう</sup>の車<sup>くる</sup>いすが利<sup>り</sup>用<sup>よう</sup>でき<sup>みせ</sup>るお店<sup>お</sup>になっ<sup>お</sup>ていま<sup>お</sup>す。





# ～みなさんのところにも届いていますか？～

大阪市営地下鉄では、駅に多目的トイレが設置されたり一部の路線では可動式ホーム柵が設置され、地下鉄を利用しやすくなりました。さらに、バリアフリーが進んでほしいと思います。

さて、すでに大阪市民の該当するみなさんのところにも以下のような書類が区役所から届いていると思います。市営交通乗車証や重度障がい者等タクシー給付券の更新申請の手続き方法が変わります。という内容です。

## 市営交通乗車証及び重度障がい者等タクシー給付券の更新申請の手続きについて

平素は本市障がい者施策にご協力いただき、ありがとうございます。

さて、現在ご利用いただいております以下の乗車証等の更新申請の手続きについては、平成29年度から5年ごとに行うことになりました。

今回の更新申請の手続きは、平成33年度に行う予定です。それまでは有効期間が1年間の乗車証等を毎年3月下旬にお送りしますので、更新申請の手続きは不要です。

ただし乗車証等の使用資格を失ったとき、不要になったときは、必ず各区保健福祉業務担当にお返しく下さい。また使用資格を失ったときは、翌年度の乗車証等はお送りしません。

### スケジュール

|               |      |                                  |
|---------------|------|----------------------------------|
| 今年度から平成32年度まで | 3月下旬 | 更新申請の手続きなしで「乗車証等」をお送りします。        |
| 平成33年度        |      | 更新申請書をお送りしますので、更新申請の手続きを行ってください。 |

#### 【更新申請手続きを延長する乗車証等】

##### 1. 市営交通乗車証

- (1) 介護人付無料乗車証 (2) 介護人付無料乗車証「単独乗車可」 (3) 単独用無料乗車証  
(4) 乗車料金割引証 (5) 乗車料金割引証「券種限定」

##### 2. 重度障がい者タクシー給付券

- (1) 普通タクシー給付券 (2) リフト付タクシー給付券  
(3) 普通タクシー給付券及びリフト付タクシー給付券 (4) 戦傷病者・原爆被爆者用タクシー給付券

※ 窓口交付の方については、例年通り窓口で交付いたします。

※ 不明な点がありましたら、お住まいの区の保健福祉業務担当までお問い合わせください。

